

カラムシ (茎蒸、苧)

イラクサ科

7 ~ 9月

季 語 夏 (苧ーからむし)



植物分類 : 多年草

別 名 : マオ、クサマオ

繊維をとるためにカラ (茎) を蒸して皮をはいだことからカラムシという。昔からの織物の材料で新潟県の江戸時代からの織物、越後縮はこれを糸にして織られている。カラムシを食草として集まってくる昆虫には、アカタテハの幼虫、フクラスズメの幼虫、ラミーカミキリなどがいる。昆虫は特定の植物を好んで食べる例が多い。

